



兵庫県議会議員
健康福祉常任委員

神戸市東灘区

きだ結

いのち・暮らし最優先の県政を



大阪北部地震被害対応について県当局に申し入れする県会議員団(左端 きだ結県議。6月19日)

大阪北部地震

被災者支援と耐震性の総点検、防災対策を早く

6月18日に起きた大阪北部地震では、倒壊したブロック塀に巻き込まれた通学途中の9歳の女の子や、子どもの見守り活動に向かっていたボランティアの高齢者など5人が命を奪われました。

痛ましい犠牲となられた方々に心から哀悼の意を表します。そして、被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

翌6月19日、日本共産党兵庫県会議員団として井戸敏三兵庫県知事に、被災者支援と、ブロック塀含む学校施設や病院施設の耐震性総点検と防災対策などを早急に求める申し入れを行いました(全文は、県議員団HP参照)。

県は、幼小中高、特別支援学校などの学校施設、保育所、

介護施設などの福祉施設の全数検査と対策を表明。その他、鉄道・バスなどの運行情報の一元化や阪神・淡路大震災の体験がフラッシュバックした方への心のケアなどを求めました。被災者支援と防災対策を求めていきます。

市バスなど公共交通機関の充実を

昨年2017年4月のダイヤ改定で、東灘区では市バス19、39、38系統の便数が大幅に減らされ、この間「市民の足を守る東灘区の会」の皆さんと署名に取り組みしました。

また、これまで31、32、33、35、37系統などの増便等充実を神戸市に求めてきました。引き続き、民間バスへの敬老バス・福祉バスの適用、六甲ライナーの運賃引き下げなど求めて、実現させていくためにがんばります。



市バスの運営状況について市から聞きとり、減便したことによる影響調査とバス路線の充実を求める(奥、左からきだ結県議、松本・西市議。4月27日)

#8000 小児救急医療電話相談

質を低下させないで

今年4月から、小児救急医療電話相談(#8000)が、地元医療機関内で地元の元看護師らの対応から、他県の委託業者に変更したことで、これまでの相談事業の質が低下しないようにすることを申し入れました。電話相談された方からすでに「地元病院の紹介もない」などの不安の声が寄せられています。



5月14日、県議団として県当局に「質の確保を」と申し入れ。



くらしの願い
地域の声
届く県政へ



新温泉町風力発電設置計画

地元合意のない計画は撤回を

国内では類のない最大高さ150mの風車21基を建設する風力発電施設設置計画が、新温泉町で進められようとしています。騒音や低周波被害、景観、地下水脈への影響が懸念され、希少種であるイヌワシやクマタカの生息への影響も心配されています。県議団は、金田峰生党国会議員団兵庫事務所長、地元町議とともに、県に計画撤回を事業者に求めるよう要望しました。



特別支援学校

4月25日、視察を行った
和田山特別支援学校前

一人ひとりに応じた環境の保障と安全確保を

4月25日、県内3カ所の特別支援学校、寄宿舎を訪問、視察しました。各学校、一人ひとりへきめ細かい指導をすすめられようとしている一方で、トイレの手すりや防犯設備が不十分なところも。とくに寄宿舎は、正規職員が少なく、増員が求められます。



6月15日、県当局への申し入れの様子。

6月議会 主な請願の内容	共産	自民	公明	連合(旧民進系)	維新
国民健康保険財政への国庫支出金を増やすよう求める意見書提出の件	○	×	×	×	×
「働き方改革一括法案」の廃案と国に長時間労働の是正を求める意見書提出の件	○	×	×	×	×

○…採択を主張 ×…不採択を主張

日本共産党提案の意見書が採択 全会一致



旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

強制不妊手術などを受けた方への救済、補償を求めます。



被災者生活再建支援法の早期見直しを求める意見書

公布から20年を迎える被災者生活再建支援法の拡充を求めます。